「避難行動要支援者名簿・個別避難計画」の活用例

名簿は地域の中で要支援者を把握し、平時から顔の見える関係を構築することで災害時の避難支援につなげることが目的であるため、要支援者の把握、支援体制の構築は地域それぞれのやり方があると考えます。それぞれの地域の特性等に応じた取組みを進めるうえでの参考としてください。

平常時

避難行動要支援者把握と日頃の見守り
防災訓練や地域防災イベントへの参加呼びかけ

どこにどのような要支援者がお住まいか確認しましょう。

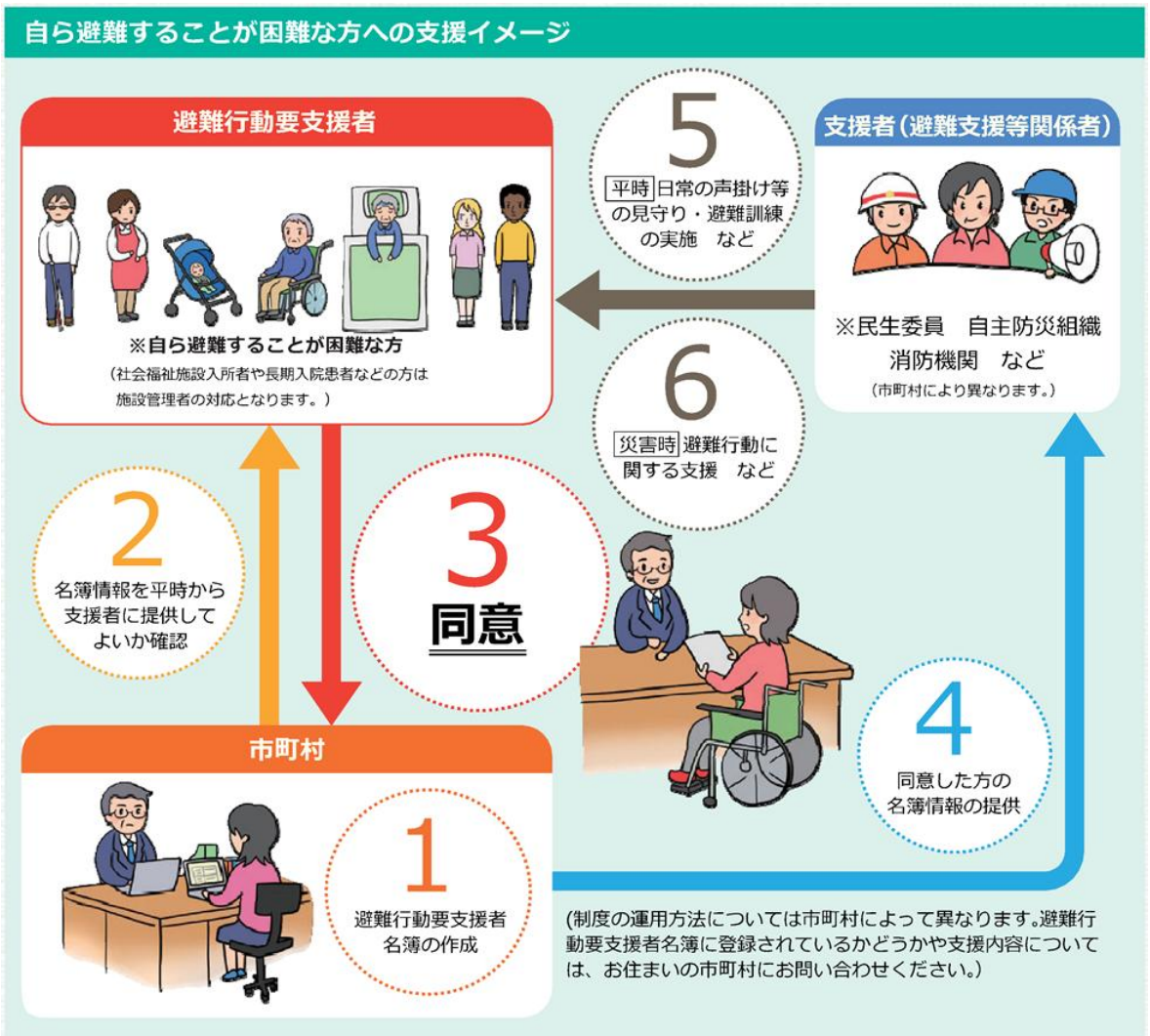
- 地域の要支援者の日頃の見守り活動・交流
- 要支援者の家を地図に落とし込むことで、地図付き名簿を作成
- 要支援者と一緒に避難場所や危険箇所を確認
- 防災訓練や地域防災イベントへの参加呼びかけ

災害時

災害情報伝達、必要に応じた声かけ
安否確認

災害時の避難支援においては，支援者（避難支援等関係者）ご自身とご家族の安全確保が最優先です。そのうえで災害時には次のような避難支援が考えられます。

- 災害情報や避難指示の伝達
- 必要に応じ避難誘導支援
- 安否確認（訪問や電話連絡等）



内閣府「災害時に備えて今できること」リーフレット抜粋